

☆唄、瀬川澄／ギター・西垣宗英

フルーツサラダの歌、明日は月の上で、
おなかの大きな王子様……他
というプログラム。

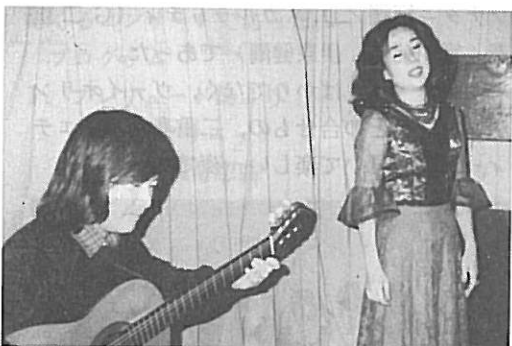
ベッドタウンになる地元に文化の芽をとい
う高橋氏の願いが、わずかずつでも根づいて
きている、楽しい催しである。



12月7日

ギターと歌によるスペイン音楽の夕

東京・池袋サウンド・ハウス・シティ



日本演奏家協会の主催で、ギターの芳志戸
幹雄、スペイン歌曲の柳貞子によるサロンコ
ンサートが行われた。さほど広くない会場に
は超満員の聴衆が集まり、楽しい一時であっ
た。一部では芳志戸のギター独奏による、サ
ンタマリア頌歌集で、透明な音で聴く人を酔
わせてくれた。休憩のティータイムをはさん
で、二部では、芳志戸のギター、柳貞子の歌
により、G. ロルカの13のスペイン民謡より
10曲が歌われた。数曲ずつ曲の内容が紹介
され、全てスペイン語で歌われたが分りやす
く悲劇の詩人、ガルシア・ロルカのその美の
世界を身近に感じさせてくれる夕べであつた。

このところ、まことに意欲的な活動を続け
る柳であるが、17日には、伴奏に、ギター、
篠原正志、木下正敏、リコーダー、藤井大史
を迎え、ルーテル市ヶ谷センターにて第3回
目のクリスマスコンサートが開かれた。「ス
ペインのクリスマスの民謡をまた一緒に歌い
ましょう。今までのものも、今度初めての新
しい歌も」とプログラムにうたう様に、誠に
楽しいクリスマスの夜のコンサートであつた。



ギター GUITAR ぎたあ

12月8日

東京・日本教育会館



12月8日(月)、日本教育会館に於いて、
日本演奏家協会ギター支部主催による第二回
目のコンサート「ギターGUITARぎたあ」
が開催されました。

当夜の出演者は全員が一流スタジオミュー
ジシャンばかりという事で流石に素晴らしいも
のでした。第一部では「グレン・ミラー・サウ
ンドをギターオーケストラで」と題し、十五人
のエレキギターを各々、サクソ、トランペ

ット、トロンボーンのセクションに見たて、
ドラムとベースを加えた十七人編成でグレン
ミラーに挑戦。第二部は「映画音楽をあなた
に」と題しエレキギター、オーケストラに加
え、生、12弦、エレキ12弦、フォークの各
ギターを持ち代え、このコンサートならではの
演出。司会にはジャズ評論家で有名な本田
俊夫さんを迎え、この会を盛り上げました。

山川

村田健司こと類十兵衛と

小山勝カフェ・コンセールNo.5

12月14日

東京・カワイミュージックショップ青山

「類のサンバ」の軽やかなギターの音にさ
そい出されるように、客席の奥から澄んだバ
リトン・レジェが流れ、ここ今夜の会場であ
るカワイミュージック・ショップ青山のパウ
ゼ(三階)で開かれた歌とギターそしてリュ
ートのコンサートが始まった。

広い窓辺で、そしてクリスタルの師走の夜
空を背景に、次々に流れ出るシャンソンのメ
ロディーは遠いパリにこだまするよう。「ラ
・ボエム」「愛の讃歌」「パリの空の下」
「行かないで」……………

そして寺山修司・谷川俊太郎・やなせたか
しの詩による遠藤雅夫作曲の日本の歌は、一
層きらきらと夜空に輝いた。「何にでも値段
をつける古道具屋のおじさんの話」「お月様
しか話し相手がいなかったら」「静かな雨の
夜に」「くずひろいの天使」……………

小山氏の端正な温かく美しいギターの音色
と、表情豊かな類氏の歌に魅せられながら、
プレベール詩、コスマ作曲によるシャンソン
を最後に会は閉じられた。

(岡本玲子)



子どもたちは弾きたがっています。

PEPE guitar



ペペギターP-49S
(ハードケースは別売)

子どもたちは柔軟です。小さなからだに、驚くほど多くのことを吸収してしまいます。だから、よいものを与えてあげたいと思わずにいられません。

ペペギターは子どもたちのためにつくられたギターです。成長のいちじるしい子どもたちの体格にあわせ、弦長40センチの4弦ギターから弦長59センチの6弦ギターまで6種類のサイズを用意しています。身体の発育とともにギターも少しずつ大きくしていけば、無理な姿勢をとることもなく、常に正しい状態でギターの練習ができます。

ペペギターはウクレレと似ているところもありますが、内容はまったくことなります。胴の厚さや木目の組み方など基本的な設計が「まざれもない「ギター」であり、棹のにぎりにしてもウクレレがある程度幅広いのに対し、ペペギターは子どもの手の大きさを十分に研究してつくられています。

子どもたちに「ほんもののギター」をもたせてあげましょう。

PGS 子どもギター教室
ペペギタースクール

ペペギタースクールは、ペペギターでおこなう子どもギター教室です。一流講師陣がすぐれた教育楽器としてしっかりしたメソッドで初歩より親切に指導いたします。現在全国33校。あなたの街でもペペギタースクールを開いてみませんか？

ペペギター ●3-4才用: P 40-4 4弦・弦長40cm ¥13,000 ●4-5才用: P 44-4 4弦・弦長44cm ¥13,000 ●6-7才用: P 49-4 4弦・弦長49cm ¥15,000 ●小学1-2年用: P 49 6弦・弦長49cm ¥15,000 ●小学3-4年用: P 55 6弦・弦長55cm ¥18,000 ●小学5-6年用: P 59 6弦・弦長59cm ¥18,000 P49-4・P49・P55・P59には表甲が単板のSタイプ(各¥30,000)もあります。お求めは全国の有名楽器店あるいはペペギタースクールで。

スクール開設のお問い合わせは

〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1 荒井貿易株式会社
TEL: 03-2711-3111
FAX: 03-2711-3112

担当 渡辺 匡(しん)

あたしやくしの贈りもの
タラントス

芳志戸幹雄
M.Hoshido

Sheet music for the piece "あたしやくしの贈りもの" (My Gift to You) by M. Hoshido. The score is written in treble clef with a key signature of one sharp (F#) and a 4/4 time signature. It begins with a *Lento* tempo marking and a dynamic marking of *p*. The first section is marked with a box 'A' and includes a *Sempre* marking. The tempo then changes to *Moderato*. The score includes various musical notations such as slurs, ties, and fingering numbers. There are two distinct sections labeled 'A' and 'B'. The piece concludes with a *Pos. 2* marking and a final *Pos. 1* marking.

—よろしく…………… 次期編集長より—
 芳志戸幹雄編集長、並びにスタッフの皆さん、一年間に渡る大奮闘ご苦労様でした。本業を全うしながらのエネルギーに敬意を払わずにはおれません。
 私のこの一年間の方針は、音楽は人間であり、文化であり、社会であるといった視点からギターを持つ魅力を引き出していこうと思っています。
 従来通り読者の皆様方からの広範に渡る貴重な御意見でもって、偏ることなく一冊一冊を大切に造っていく所存ですので宜しく御支援をお願い申し上げます。 伊東福雄

さようなら……………
 ●この号をもちまして私達スタッフに代わり新編集長に伊東福雄氏、副編集長に小原聖子氏にバトンを渡します。
 一年間御愛読、本当に有難うございました。ドしろとうが寄り集まってよくまあどうにか本を出してきたな、という思いと共に、いたらなかった沢山のことを思い起しています。御協力を下さった皆様、本当にありがとうございます。そしてスタッフの面々、ありがとう、お疲れ様でした。

この後の編集を引き受けて下さった新スタッフのもとで、更に更にこの本が良くなっていくことを確信しつつペンを置きます。 芳志戸
 ●小生もこの後記を書くのも最後となりました。いつも書くことが無くて釣りの話ばかりでしたが、時、真に冬！…釣りの方も少々お休みの状態です。いにネタ切れとなりました。
 愛読者の皆様の内にも愛好者がいらっしゃるよう、この雑誌で知り会えたのですから、なんとか本当に一度釣行したいものです。 徳二
 ●皆様の御協力のおかげで、私達スタッフによる「ギターニュース」も無事に発行することができました。バックナンバーを読み返したり、写真を整理していると、いろんなことがあった一年間でしたが、まだまだ反省の材料ばかり目につきます。これ以上のことは、次のスタッフに期待することにして、ご愛読いただいた皆様には、厚く御礼申し上げます。 前川

●このたびメデタク編集の仕事（本業はギターですが）を次期のスタッフに引き継ぎ、またギタリストならぬヘタリストにもどることになりました。読者のみなさん今後もギターニュースをよろしく、さようなら!! 坂爪
 ●今月号にて、一年間の任期が終了スタッフを退くことになりました。各地から原稿を送って下さった諸先生方、本当にありがとうございました。又、夏の講習会で大勢の人たちと友だちになれたことや、スタッフの面々と色々な話ができただことなど、忙しくも楽しい一年でした。
 新スタッフの皆様、ニュースをよろしく。愛読者の皆様、今後もギターニュースを可愛がって下さい。 モロこと篠原
 ●新春に編集部が編集長宅に集合したときのことです。「大飢饉で何も食べるものがなくなったら、俺たちも共食いをするだろうか？」と、誰かが言いました。「うん—きっと一番先に食べられるのは編集長だ!!」と、他の誰かが答えました。でも、この時モロが居なかったのですが……。さて、そうしたら誰が食べられるのでしょうか？ 私は食べられたくないとも思い、食べられないのは哀しいような気もしたり、シェイプ・アップ体操をしようかしらまいか迷ってしまいました。来月からは本業に専念します。皆様、お元気で。 片岡

月刊 ギターニュース
 昭和56年2月1日発行
 発行所 社団法人日本ギター連盟
 〒164 東京都中野区中野 2-21-4
 TEL 03(383)1819
 発行責任者 荘村正人
 編集責任者 芳志戸幹雄
 印刷 刷銀座印刷
 定価 200円

音楽する喜びをあなたに

—ギタルラ社にお任せ下さい—

- 大衆ギター
- 国産手工ギター
- 輸入高級ギター
- リュート、ビエラ
- チェンバロ
- パイプオルガン
- リコーダー
- ヴィオラ・ダ・ガンバ
- トラベルソ
- 他古典楽器
- 楽譜・弦・備品



- ギター教室
 *クラシック
 今野有二(休)
 篠原正志(金)
 浜田三彦(土)
 小山勝(日)
 リコーダー教室
 大竹尚之(休)
 飯室謙(休)
 品川治夫(金土)
 チェンバロ教室
 秋光豊子(休)
 及川真理子(休)
 入会随時
 初心者歓迎



ギタルラ社 〒150 東京都渋谷区渋谷1-23-21 ☎(03)409-3395
 東京古典楽器センター 〒150 東京都渋谷区渋谷1-23-19 ☎(03)409-3396